

**広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書**  
**HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report**

記入日/Date 2020年1月26日 (2020/01/26)	
派遣プログラム Name of Program	■HUSA □USAC □UMAP
留学先大学 Host University	国立台湾大学 (国名/Country: 台湾)
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	外国語文学系 (Department of Foreign Languages and Literatures)
在籍身分 Status at Host University	Exchange Student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)
留学期間 Period of Program	2019年9月2日 ~ 2020年1月25日 (2019/09/02) (2020/01/25)

### 1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	大学に入学する前から長期留学を希望していました。専攻が英米文学であることと、第二外国語で中国語を勉強していたことから、英語と中国語を両方勉強できる留学先を探しました。国立台湾大学は台湾最高学府であり、高いレベルの教育を受け、優秀な学生たちから刺激を受けられると思い選びました。
留学準備を始めた時期 (応募する 何か月前ですか?) Commencement of Preparation for Application	大学1年生の初めから留学を頭に入れながら、英語の勉強をしたり、留学経験のある先輩からお話を伺ったりしていました。応募する約1年前から徐々に語学試験の勉強を始めましたが、本格的に始めるのが遅かったためなかなか語学要件を満たすことが出来ず、応募直前まで試験を受け続けました。
事前準備について(どのような準備をしたか、しておけばよかったか) Preparation Completed Prior to Study Abroad	奨学金の応募、留学先への書類提出や手続き、台湾に関する情報収集、語学の勉強、下宿先の引き払い、デビットカードの作成など。  台湾に関する知識と語学力が足りなかったため、行く前にもう少し勉強していればよかったと思いました。

### 2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : 停留ビザ マルチ
	ビザ申請先 / Location of Visa Application : 台北駐大阪経済文化弁事処
	提出書類 / Required Documents : 旅券とその写し、申請書、カラー写真2枚、留学先の入学許可書原本、日本の大学の在学証明書、手数料
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 1日
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	ビザ申請書を専用ウェブサイトにて記入した後プリントアウト
出国年月日/ Date of Departure	2019年9月2日 (2019/09/02)
経路(往路) / Route (Outward)	高松空港(香川県) → 桃園空港
現地での出迎え Pick-up Service	■有/Yes (大学関係者/Univ. Staff ・ <u>その他/Others</u> ) □無/No
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	■有/Yes 有の場合 期間/Period : 9月4日9:00 - 9月4日12:00 (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation □無/No 授業、大学施設、大学周辺の環境、台湾での生活の知恵、クラブ活動などについて

帰国年月日 / Date of Return	2020年1月25日 (2020/01/25)
経路(復路) / Route (Return)	桃園空港→高松空港(香川県)

### 3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額	613,000 円 (自己負担分) 697,350 円 (総支出額)		円/yen
	Total Amount			
内訳 Details	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)	84350 円 (GPLP 負担のため自己負担ではない)		円/yen
	ビザ申請手数料 / Visa Application Charge	10500		円/yen
	予防接種費用 / Immunization Charge	30,000		円/yen
	保険料 / Travel Insurance	65,000		円/yen
	教材費(授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)	22,000		円/yen
	宿舍費(住居費) / Accommodation Fee	120,000		円/yen
	光熱費 / Utility Cost	2,500		円/yen
	食費 / Meal Cost	172,000		円/yen
	通信費(インターネット・携帯) / Internet, Phone	20,000		円/yen
	交通費(宿舍-大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	0		円/yen
	交際費 / Social Expenses	44,000		円/yen
	その他 / Others (交通費) (美容・衣服費) (雑費)	50,000 50,000 27,000		円/yen 円/yen 円/yen

### 4. 授業・修学について / Courses and Study

<p>授業の概要について(カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)</p>	<p>毎朝 2 時間すなわち週 10 時間中国語の授業を履修した。レベル分けテストによって分けられた 15 人くらいのクラスで台湾人の先生がすべて中国語で授業をしてくれた。他には英語で開講された授業では、『16 世紀の英米文学』『English Presentation』『台湾の女性と社会』『台湾の映画と文化』『International Companions for Learning』という授業を取り、中国語で開講される授業では、『台湾の歴史』という授業を取った。</p> <p>『16 世紀の英米文学』は、週 3 時間ネイティブの先生が講義形式で授業をしてくださり、生徒は教科書にメモを取っていく形だった。中間テスト、期末テスト、中間レポートがあるが、準備をしっかりとすれば単位は取れる。私は、講義を録音し家で聞きなおして復習することでなんとか授業についていった。また、本科生ばかりで日本人は一人しかいなかったため、初めは孤独を感じたが、友達を作り助けてもらった。</p> <p>『English Presentation』は週 3 時間あり、2 時間が講義形式、1 時間がチュートリアル形式だった。1 セメスター中に 4 回プレゼンテーションをした。基本的にはチュートリアルのメンバーで教室を予約して少人数でプレゼンをし、お互いにフィードバックと評価を行い、撮影したビデオを教授に送り評価してもらうが、4 回中 1 回だけ大教室で教授の前でプレゼンをし、教授に直接評価してもらった。人前でいかにプレゼンをするかを学び、</p>
---	--

	<p>緊張に打ち勝って話す能力を身につけることができた。</p> <p>『台湾の女性と社会』は、週2時間大教室で行われる講義形式の授業だった。基本は教授が講義をするが、毎回授業終わりに周りの学生と与えられたテーマについてディスカッションして、Word にまとめ提出しなければならないという課題があった。自分の意見を述べるのが求められるが、初めは難しいテーマということもあり、他の外国人留学生と違って自分の意見を持ってない自分に悔しかったが、徐々に意見を述べられるようになった。</p> <p>『台湾の映画と文化』も、同じく週2時間大教室で行われる講義形式の授業だった。講義もあったが、時々台湾映画や台湾人のドキュメンタリー番組を見て学んだ。とても興味深い授業だった。</p> <p>『International Companions for Learning』は台湾大学の台湾人と留学生が2人1ペアになり、担当する台湾の小学校の小学生と毎週1回 Skype でお互いの文化を紹介して交流し、セメスター中に1回実際にその小学校を訪問して交流する。この授業は、1番取ってよかったと思う授業であり、これから留学する人はぜひ取ってほしい。台湾のローカルな文化を学べるうえに、無料で台湾の地方へ行ける。実際に対面できた時の感動は本当に大きい。一人につき2校まで担当できるが、私は台湾北部と台湾の島の学校に行った。パートナーとも毎週会うのでとても仲良くなる。そして何より、小学生と交流するのはこのプログラムだからこそできることだと思う。</p> <p>『台湾の歴史』は中国語で行われるが、先生が日本人学生用に少し簡単な課題を用意してくれたり、手厚くサポートしてくださったりしたので、ついていくことができた。私は、中国語のリスニング力を高めるために、単位不要の聴講生として履修した。</p>
<p>単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>有/Yes      <input type="checkbox"/>無/No</p>
<p>授業・勉強についてのアドバイス (留学前の履修, 留学中, 単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)</p>	<p>留学前の履修期間は、student volunteer という留学中にサポートをしてくれるパートナーに履修のアドバイスをもらって履修登録をした。また、単位交換に関しては、広島大学のシラバスと台湾大学のシラバスを照らし合わせながら教授に相談して単位交換計画書を作った。留学開始後も、第2週目の授業までは履修取り消しや追加が可能なので、現地で仲良くなった子とも相談して履修を確定した。台湾の東大だけあって授業や学生のレベルが高く、ついていくのは大変だった。友達と協力して予習したり、授業を録音して復習したりしてこなし。英米文学の中間テストで41点を取ってしまい単位取得は不可能だと絶望したこともあったが、教授やTAにアドバイスをいただいたり、クラスメイトに教えてもらったりしながら、なんとか中間レポートと期末テストをやり遂げ単位を取得できた。教授と仲良くなるのも手だと思う。それ以外の授業は、準備や課題が大変なものもあったが台湾人の友達にアドバイスをもらって乗りきった。</p>
<p>日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦 (ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など) / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)</p>	<p>広島大学よりもはるかにディスカッションの量が多く、自分の意見を持つことが求められた。初めは恥ずかしがって意見を言えなかったが、徐々にいえるようになっていった。また、『English Presentation』で初めてチュートリアル形式を経験した。これも自分たちで意見を出し合い、自分たちのプレゼン原稿を推敲していった。同じメンバーで学期中に計4回プレゼンを行うため、回を重ねるうちに絆が深まり良い関係を築けた。</p>

## 5. 生活等について / Lifestyle

(1) 留学先の住居について / Accommodation

住居の種類 Type of Accommodation	■大学の寮 / University Dormitory    □アパート / Apartment □その他 / Others (                      )	
住居の広さ Size of the Room	約/approximately m <sup>2</sup>	同居人の有無 Roommate(s)? □有 / Yes (                      人/People) ■無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	■電気/ Electricity    □ガス/ Gas    ■水道/ Water    ■給湯/ Hot Water    ■シャワー/ Shower □風呂/ Bathtub    ■水洗便所/ Flushable Toilet    □暖房/ Heating    ■冷房/ Cooling    □台所/ Kitchen □食堂/ Dining Room    ■固定電話/ Land-Line Phone    □インターネット/ Internet □その他 / Others ( 冷蔵庫、ベット、机、棚、クローゼット、靴箱 )	
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month 7400NTD (現地通貨/ local currency)	約/ approximately 約 27,000 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	<p>1人部屋にしては広くてきれい。寝具や生活用品を寮で販売してくれるので、そこで揃えることができる。ただ、寮で買った布団は薄くてかたく、枕は厚みがありすぎたので、生活し始めたころは朝起きるたびに腰と首が痛くなっていた。次第に慣れた。寮の近くにIKEAがあるので、そこで寝具や生活用品をそろえる人もいた。大抵の生活用品は台湾で購入することができるので、持っていく荷物を軽くするためにも台湾で購入することをお勧めする。ただ、日本製品は台湾で購入するほうが高い。</p> <p>また、台湾の冬は思った以上に寒い。部屋のエアコンに暖房機能がないので部屋の中でも厚着していた。台湾でヒーターを購入した友達もいた。</p> <p>蒸し暑い台湾ではゴキブリがいるため、3階までは部屋にゴキブリが出た話を聞いたことがある。私は7階のため一度も出なかった。ゴキブリ対策のためブラックキャップを部屋に置いてもいいと思う。台湾には売っていないので日本から持参すべき。</p> <p>また、湿度がひどいのでお気に入りの服や靴は日本から持って行かないほうがいい。カビてしまった服や靴は捨てて帰ることになった。台湾には安くてもかわいい服や靴がたくさんあるので、持っていく荷物は少なめで良いと思う。</p> <p>寮の部屋ではWiFiがつかない。携帯からインターネット共有し、パソコンを使っていた。</p>	
(2) 医療について / Medical Care		
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	■本学指定の保険 / Hiroshima University    □留学先大学指定の保険 / Host University □その他 / Others (                      )	
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage    死亡 / Death    93,309 円 / yen, 入院1日 / per day of Hospitalization    円 / yen その他 / Others (                      )	
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	■有 / Yes (種類 / Acquired Immunizations : A型肝炎 , 医療機関名 / Location of Immunization : おだ内科クリニック ) □無 / No	
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	大学内に保険中心という病院があり、英語と中国語を話せる先生が診てくれる。日本より医療費は安い。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	夏は暑いので汗をかきすぎて肌が荒れてしまうことがあった。脱水症状にならないように水分摂取を心掛けた。冬は想像以上に寒くて体調を崩してしまったことがあった。また、台湾は日本よりも空気がきれいではないので空気がくすんでいるときはマスクをしていた。食べに出かけるときはウェットティッシュを持ち歩くようにしていた。	

<p>(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management</p>
<p>台湾は本当に安全だった。夜がにぎやかなので、夜遅くにも多くの人が出ていて危険な状況はなかった。一人で買い物をしても平気なくらいに安全だったが、夜はなるべく友達と共に活動するようにしていた。荷物を置いていても盗まれることはないが、念のため財布を立つときは財布と携帯を持ち歩いた。私が台湾にいた間は、まわりで盗難や犯罪を聞いたことはなかった。</p> <p>たまに、乞食の人や勧誘の人に後をつけて来られたことがあったが、気にせず歩けば諦めてくれる。</p> <p>日本人女性は台湾人男性に人気で、日本人女性目的で交流サークルに入ってくる人もいたので注意が必要。様々な交流サークルがあるが、台日交流会はそういう人を見極めるために面接があるそうなので安心して活動できた。多数の日本人女性にしつこく連絡をしてくる人がいたが、信頼できる台湾人の友人に相談し距離を取った。</p> <p>一度、台湾大学の中で、外国人にしつこく声をかけてくるおじさんがいて、何人もが不快な思いをしていた。交換留学生のLINEグループがあり、そこで情報共有をしてくれる人がいたのでその期間は警戒して過ごすことができた。私は、このおじさんには遭遇しなかった。</p>
<p>(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice</p>
<p>台湾は基本的に3食とも外食。寮内にキッチンがあり、調理をしている人を見かけることもあったが、基本的には外食が一般的である。朝ごはん屋さんがたくさんあり、毎朝行きつけの朝ごはん屋さんで食べて授業に行っていた。おいしく、価格も安く、飲食店や夜市がたくさんあるので食に困ったり飽きたりすることはなかった。台湾で食べたすべてのごはんがおいしかった。日本食屋さんがあるので日本料理が恋しくなることはなかったし、何よりお米が食べられるのがありがたかった。うわさに聞いていた通り、ドリンク屋さんはたくさんある。本当に安くておいしいので週に4回はタピオカを飲んでた。お気に入りのタピオカ屋さんを発掘するのが楽しかった。私は comebuy というお店の百香果樂がおすすめ。</p>
<p>(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing</p>
<p>10月くらいまではとても暑い。化粧をしても落ちてしまうくらいに暑い。日焼け止めを塗り、こまめに水分摂取することが大切。11月くらいからは、日中は暑く夜は徐々に肌寒くなり薄手の長袖を羽織っていた。12月からは本格的に長袖を着ていた。寒い日には、ニットやコートを着ていた。11月くらいから寒い日と暑い日の差が激しくなり、11月でもニットの日はあるし、1月でも半そでの日はあったので、どの気候にも対応できる服を準備しておくべき。寒がりの人はマフラーや手袋が必要かもしれない。私は、台湾が寒いことを知らず、ほとんど長袖を持って行ってなかったため、冬服は台湾で購入した。</p>
<p>(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む） / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc. )</p>
<p>台湾大学は本当に過ごしやすい環境だった。図書館には勉強机や書籍も多く、無料で映画鑑賞できる部屋や24時間空いている自習室があり整った環境だった。コンビニや食堂も多くあり、大学グッズや農産品を売っている売店も何か所かあった。大学内にある小木屋鬆餅というワッフル屋さんがとてもおいしい。大学内には2つの図書館、8つの博物館、2つの体育館、陸上競技場、テニスコート、プール、病院など設備が整っていた。また、大学内と寮のロビーにはWiFiがあった。台湾大学がある公館駅周辺はお店や飲食店が多くあり、駅から寮も近いので暮らしやすかった。地下鉄で台北駅や西門駅にもすぐに行けるアクセスの良さと、都会過ぎない都会でちょうどよい街だった。</p>
<p>(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？） / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)</p>
<p>取る授業によっては留学生ばかりの授業もあったが、私は台湾人が多くいる授業も取っていたので授業を通して台湾人と仲良くなった。特に、ICLというSkypeで台湾の地方の小学生と交流する授業では、現地の小学生と交流できたと、パートナーの台湾人ととても仲良くなった。</p> <p>しかし、授業だけで仲良くなるのは大変だと思うので、サークルや部活動に参加するのがおすすめ。私は、台日交流会に入って仲良くなった台湾人と毎週会って言語交換をしていた。他にも、仲良くなった台湾人とはごはんに行ったり旅行に行ったりした。</p> <p>また、火舞団(Fire Dance Club)という部活動に入った。火舞は、火のついた道具を持ってパフォーマンスをすることで、台湾では多く見られる部活だそう。日本ではできないことに挑戦したいと思い入部を決めた。中国語で練習が進められるため、聞き取れなかったり言いたいことが伝わらなかったりと苦労することもあったが、中国語の勉強のいい機会だとポジティブにとらえ、積極的に中国語でコミュニケーションをとる努力をした。この部活のおかげで中国語が上達したように感じる。学期の終わりに発表会があったが、ともにやり遂げたことで、絆が深まり、かたがえのない仲間たちが出た。結局、一番仲良くなりたくさん遊びに出かけたのはFire Danceの仲間たちだった。</p>

<p>また、行きつけの朝ごはん屋さん、小籠包屋さん、ドリンク屋さんの店員とはとても仲良くなり、毎回お話をしたり、サービスしてもらったり、よくしてもらった。</p>
<p>(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners</p> <p>意見をしっかり言う性格の人が多いため、初めは驚くこともあった。しかし、基本的に優しい性格の人が多いため、意見の衝突はなく、人間関係にも困らなかった。</p>
<p>(9) 日本から持っていくべきもの、持っていきべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?</p> <p>日本から持っていきべきものとしては、防寒具。台湾は暖かい国であるため冬の気候が予想できなかったが、想像以上に風が冷たく寒かった。</p> <p>持っていきべきでないものは、洗剤やタオルなどの生活用品。現地の物価が安いので、現地で購入し、捨てて帰るのがよい。</p>
<p>(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad</p> <p>現地で SIM カードを購入して使う人が多いので、日本にいる間に SIM ロック解除をしていくべき。私は現地で SIM ロック解除の方法がわからず困ったので、事前にしっかり調べていくべき。</p>

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad	
卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2021 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2021 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	<input type="checkbox"/> 4 年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year <input type="checkbox"/> 単位不足のため / Amount of Credits <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate <input type="checkbox"/> その他 / Others (具体的に / Specific reason: )
現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	帰国後から本格的に就職活動を始めた。また、帰国後すぐにチューターの先生と会い、卒論のテーマを決めた。就職活動をし、教育実習に行き(教員免許を取得予定のため)、取り残した単位を回収しながら、卒論を書いて、2021 年 3 月に卒業する予定。
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等について の工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	<p>【単位】            留学前にある程度単位を回収しておくのと、4 年時には履修できない科目もあるためきちんと確認していくべき。</p> <p>【教育実習】            教育実習は本来であれば 3 年夏だが、留学が被ったため 4 年時で行く。実習に必要な単位をきちんと回収できているか確認すること。</p> <p>【就職活動】            2 年次 2 月から就職活動を始めた。留学前までに、自己分析を進め、夏インターンに数社、合同説明会にも何度か行った。留学中は、21 卒の日本人留学生とともに自己分析を行ったり、現地の日系企業の企業訪問をしたり、現地で行われる就活イベントに参加したりした。また、オンラインツールを使って、リクルーターに相談したり、企業説明会に参加したりしていた。帰国後に行われるインターンに間に合うように帰国前に何社かエントリーしていた。これらの行動をした結果、留学中に 2 社内定をもらった状態で帰国し、就活解禁とともに安心して就職活動を始めることができた。</p>

7. 留学準備, 留学中に役立つ書籍, ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad		
書籍, サイト名 Name of Book or Website	詳細 (出版社, URL 等) Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
aruco 台湾	地球の歩き方編集室	旅をするときに使っていた

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad
<p>留学は自分の視野を広げられる素晴らしいものです。語学だけを学ぶのであればオンラインや教材を使って勉強するだけでよいかもしれませんが、実際に現地に留学するということで、語学力を向上させることができるだけでなく、現地の人との交流を通して文化を学び、自身が知らなかった世界を知ることができます。留学中は苦しいこともありますが、それを乗り越えるときっと一回り成長して帰国できると思います。</p>

## 9. 自由記述（日本語・1,200字程度） / Feedback (English about 600 words)

### 【留学を終えて】

心の底から台湾に行ってよかったと思っています。私は、HUSA 応募時は別の国を志望していたため、留学先が台湾に決まった時は少し不安もありました。しかし、台湾の東大と呼ばれる歴史ある台湾大学で学ぶことができ幸せ、友人や現地の方にも恵まれ素晴らしい日々を過ごせました。留学中は、台湾の食べ物、文化、歴史すべてを肌で感じ、満喫できました。実際に行ってみて台湾の魅力に気づき、台湾のことが大好きになりました。

### 【留学中印象に残った出来事】

火舞團(Fire Dance Club)という部活動に入ったことです。火舞は、火のついた道具を持ってパフォーマンスをすることで、台湾では多く見られる部活だそうです。日本ではできないことに挑戦したいと思い入部を決めました。中国語で練習が進められるため、聞き取れなかったり言いたいことが伝わらなかったりと苦労することもありましたが、習った中国語を復習できるいい機会だとポジティブに捉え、積極的に仲間たちと中国語でコミュニケーションをとる努力をしました。この部活に入部したおかげで徐々に中国語が上達したように感じます。学期の終わりの成果発表会で、多くの観客に観られながらパフォーマンスをし、やり遂げたことは達成感でいっぱいでした。この部活を通して、かけがえのない仲間たちができたと感じます。

### 【留学の成果、留学前と比較して成長した点】

留学の成果は、台湾への理解が深まったこと、かけがえのない友人ができたこと、英語と中国語を向上させられたこと、の3点だと思っています。留学前は台湾や中華圏の歴史・文化をあまり知りませんでしたが、台湾人との交流や歴史的施設の訪問などにより、しっかりと台湾の歴史・文化を学び、台湾が大好きになりました。また、台湾人をはじめ様々な国の友人ができ、また切磋琢磨しあえる大切な日本人の友人も多くできました。帰国後も交友関係を続けています。そして、1回の留学で英語と中国語という2つの言語を身に付けられたのはよかったと思っています。留学前は間違った外国語を話すことが恥ずかしくて話せませんでしたが、間違いを恐れずに自分の思いを言葉にできるようになったと思います。成長した点は、自分の考えをしっかりと持てるようになったことと、知らないことを知るための行動を起こし、学ぶ姿勢を身に付けられたことだと思います。

### 【今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか】

将来は英語と中国語を生かして世界中の人と関わりながら働きたいです。また、台湾の企業を訪問したり、台湾人の女性の友人と話したりして、台湾では女性が多く活躍し、働きやすい環境が整っていることを知りました。日本はまだ女性の社会進出が進んでいないと感じるため、すべての女性が暮らしやすい社会になるよう貢献したいです。





